



2年学年だより

発行日:令和6年1月31日(水)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:遠藤 広樹 NO. 9

校長代理

中澤 務

新しい年を迎えひと月が経とうとしています。元日に起きた地震では能登半島を中心に大変大きな被害がありました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。中学生が集団避難する様子も報道されていました。自分の学校に行くことができず、家族とも離れて生活しなければならないことを思うと本当に心が痛みます。報道の中で、「授業や友達に会えるのが楽しみ」と話していた中学生がいました。思いの全てを知ることはできませんが、その前向きな姿が強く印象に残りました。

横浜市は消防局が消防隊・救助隊・救急隊を編成して、1月8日から緊急消防援助の活動をしています。他にも水道局による応急給水や水道施設復旧の支援、資源循環局による避難所ごみ、生活ごみの収集活動や災害用トイレレーラーの派遣、健康福祉局・医療局・こども青少年局・区役所の職員による保健師チームの活動…など、現地での支援を行っていることがホームページで公表されています。いつどこで起きるかわからない災害に十分に備えるとともに、災害が起きた場合に支え合う仕組みづくりについても、附属中の皆さんとともに、自分事として考えていきたいと思っています。

南高卒業生による講演会～国際協力の現場から～

12月21日、22日と二日間にわたり、南高校63期卒業生である小野寺航大さんに、ご自身の経験をもとに、講演をしていただきました。小野寺さんは中東のレバノンで国際協力のお仕事をしていましたが、情勢の悪化で、日本政府からの通告により帰国しています。附属中生徒の皆さんに戦争や紛争の実態について、わかりやすく伝えていただきました。

ご講演の前に、小野寺さんに伺いました。

Q「なぜ、国際協力の現場に身を置こうと思ったのですか。」

A「小さい頃、ニュースで、紛争の中で苦しむ子どもの様子を見て、自分が何かしたいと思いました。高3のとき、アフリカのケニアに行き、孤児院の子どもと遊んだりしました。大学ではインターンシップやボランティアなどを行っていました。将来は国連の職員になって、世界の平和のために貢献したいと考えています。」



戦争や紛争で最も影響を受けるのはどんな人たちだろう…。小野寺さんのお話を伺いながら、生徒の皆さんは真剣に考えていました。小野寺さんは、「戦争とは人々の悲劇の集合である」との言葉で講演を締めくくっていました。質疑応答の場面ではたくさん手が挙がりました。時間によって講演会は終了しましたが、教室に戻ってからも多くの質問が出続けました。その一つひとつに後日、小野寺さんからお答えをいただきました。

今回の講演会を通して、附属中の生徒の皆さんが、今起きている戦争や紛争について、また国際協力について、大きな関心を寄せていたことを嬉しく思います。皆さんが将来、どんな場所でどんな職業に就くとしても、地球規模の課題をしっかりと視野に入れて活躍してくれることを期待してやみません。

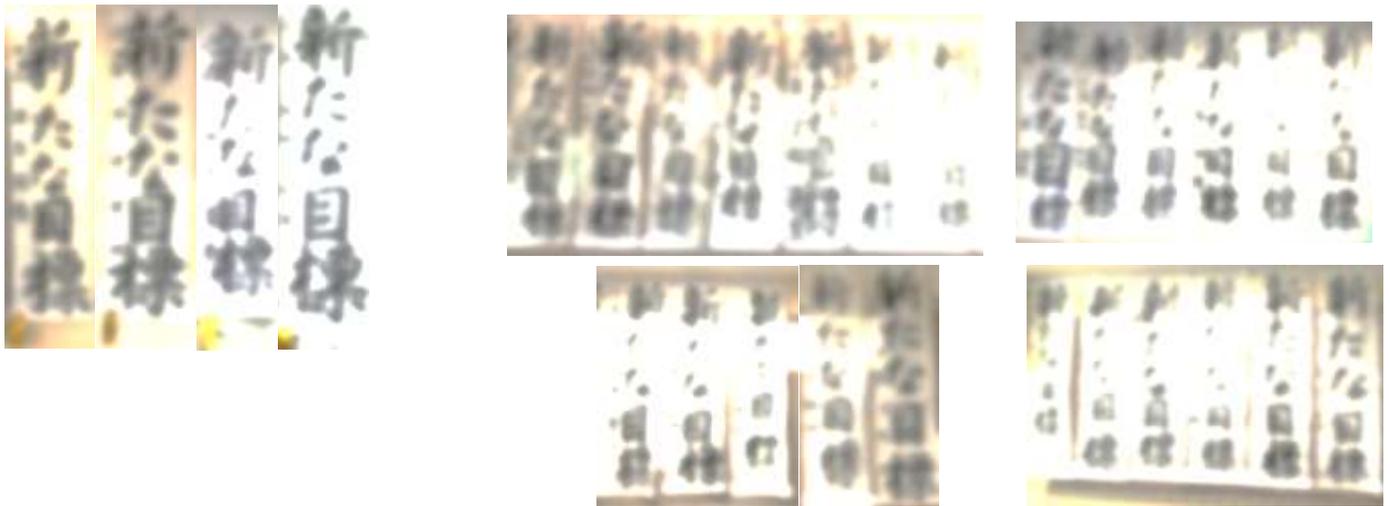
2024 年になりました

2024 年になりました。4月からは、いよいよ最高学年となります。2年生として過ごす残りの2か月で中学校を引っ張っていく立場となる準備をしましょう。また、今年はオリンピックが開催されます。日本を代表するアスリートをお手本にして、勉強、部活やその他の活動を頑張りましょう。以下、冬休みの宿題で書いた書き初めを紹介します。

金賞



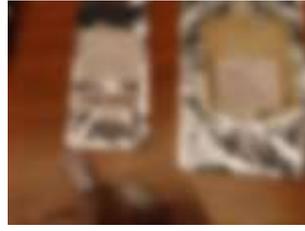
各クラス掲示の様子



JAXA

1月20日(土)に JAXA の宮里さんに講演をしていただきました。講演当日は、小型月着陸実証機 (SLIM) が日本初の月面着陸に成功した記念すべき日となりました。宮里さんは、月面着陸を見届けた後に本校に講演しに来てくださったそうです。講演では、ロケットの進化、宇宙での過ごし方、宇宙食などについてお話していただきました。宮里さんおすすめの宇宙食はカレーとのことでした。宇宙食を買うことができる場所もあるので、一度食べてみるのも良いですね。また、休憩時間には、多くの生徒が宮里さんに質問をする様子も見られました。積極的に学ぼうとする姿勢が素敵でした。





【JAXA の講演を聞いての感想】

- ・ 今回講座を聞いて、宇宙のことやロケットのこと、JAXA について興味が湧いたので、今度調べてみようと思いました。
- ・ 日本では、ロケット作りも行われていて、成功率が98%のロケットを作れる技術がすごいと思った。宇宙での生活の実現のため、ISS で野菜の栽培が行われていることを知って、今後も新たな取り組みを行うことが大切だと思った。
- ・ H3 ロケットでは、実験では、失敗をしないようにしっかり実験をする必要があるということを再認識することができた。
- ・ リュウグウの砂からアミノ酸や、他の星からの水が検出されたことで、今まで分からなかった宇宙の謎が解明されるのかと思うととてもワクワクしました。
- ・ 宇宙服は 120kgの重さがあるらしいが、たぶん陸で着たら動けないと考えた。自分の知らない世界がたくさん知れてよかった。これを機に、もう少し宇宙について調べたいと思った。

百人一首大会

1月23日(火)に百人一首大会を行いました。

国語係さんなどの協力もあり、百人一首大会を無事に開催することができました。準備等ありがとうございました。

百人一首を一生懸命覚えた成果は発揮できたでしょうか。学年の先生も何首か分担して読んだのですが、そのたびに拍手が起こるなど、心が温かくなりました。以下、百人一首大会の様子です。



みちをのぼやき 「称える心が美しい」

今月、とても印象に残っている出来事があります。それは「百人一首大会」のときの出来事です。この百人一首大会では、学年の先生たちが読み手を順番に担当しましたが、読み手が変わる度に生徒のみなさんが盛大な拍手で称えてくれていました。その様子がとても印象に残っています。自然に拍手が沸き起こるその雰囲気がとても素敵で、それができるみなさんの心が素晴らしいと感じました。これからもみなさんと一緒に人を称える気持ちを大事にしていきたいなと思いました。国語係のみなさん、企画・運営ありがとうございました。